

■女性特有がん検診無料クーポン券を送付します

桂川町では、令和4年4月20日時点で桂川町に住民票があり、初めて子宮頸がん検診、乳がん検診の検診対象となる年代に検診費用が無料となる「無料クーポン券」、「がん検診手帳」を令和4年5月上旬に送付いたします。受診場所など詳しくは同封の案内チラシをご確認いただき、無料クーポン券に記載の有効期限内にご利用ください。

〈子宮頸がん検診無料クーポン券配布対象者〉

節目年齢	対象生年月日
20歳※	平成13(2001)年4月2日～平成14(2002)年4月1日

〈乳がん検診無料クーポン券配布対象者〉

節目年齢	対象生年月日
40歳※	昭和56(1981)年4月2日～昭和57(1982)年4月1日

※年齢は令和4年4月1日時点の年齢です。

日本人の2人に1人ががんを経験し、3人に1人ががんで亡くなっていることをご存じですか。特に女性では、20～40代にかけて子宮頸がん、40代後半で乳がんの発症率が上昇します。がんになる可能性はだれにでもあります。自覚症状が出る前に、早期発見ができるのはがん検診だけです。

どんな検診？

子宮頸がん検診：子宮頸部の細胞診検査
 （生理中、妊娠中等受診できない場合があります）

ヘラやブラシのようなものを膣内に挿入し、子宮頸部の粘膜を軽くなでるようにして細胞を採取します。この時、少し出血する可能性はありますが、痛みなどを感じることは少ないです。採取した細胞を細胞診の専門家が顕微鏡で調べます。

乳がん検診：マンモグラフィ検査
 （妊娠中、母乳が出ている方、乳房形成術をしている方等受診できない場合があります）

乳腺・乳房専用のレントゲン撮影です。透明の圧迫板で乳房を挟んで撮影するため、痛みを感じる方もいます。マンモグラフィ検査では、触ってもわからないような早期の小さな乳がんはもちろん、しこりを作らない乳がんを白い影や非常に細かい石灰砂の影として見つけることができます。

もし、精密検査に該当したら？

検診だけでは、がんの診断はできません。もし、「要精密検査」に該当した場合は、さらに詳しい検査を受け、がんかどうか判定されますので、必ず受診しましょう。

※精密検査費用は受診者負担